

草丈と葉色による生育診断を実施し 1回目の穂肥は適量を施用!

1 コシヒカリの生育状況(7月8日現在)

【草丈】並 【茎数】並 【葉令】並 【葉色】濃い

2 コシヒカリの出穂予想(7月9日現在)

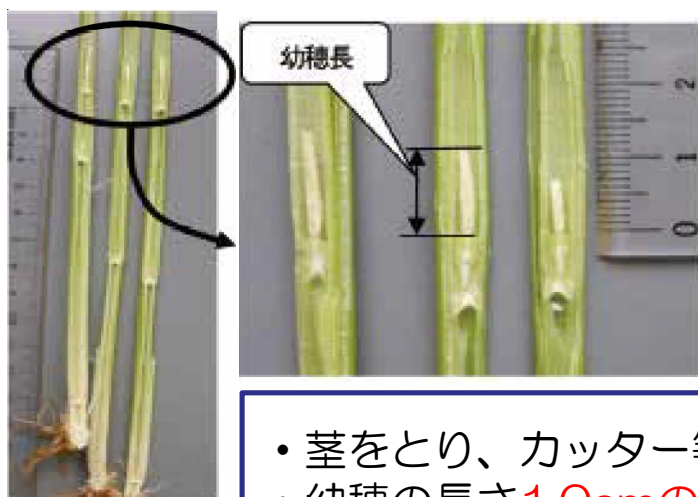
【5月15日植え】→8月2日頃→穂肥1回目は7月15日頃

【5月20日植え】→8月5日頃→穂肥1回目は7月18日頃

【5月25日植え】→8月8日頃→穂肥1回目は7月21日頃

○ほ場間差が大きいので、必ず各ほ場で幼穂を確認しましょう。

3 幼穂長の確認方法と出穂前日数



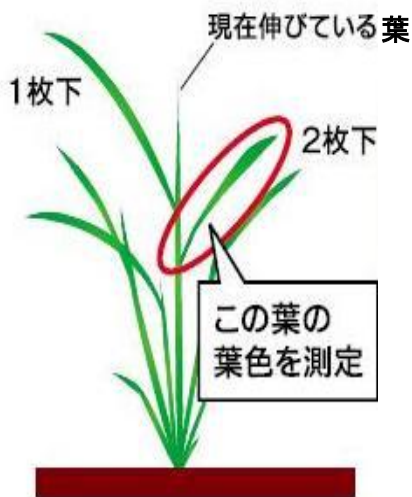
出穂前日数	幼穂長(cm)
24日	0.1
20日	0.4
18日	1.0
12日	4.0~6.0
10日	8.0

- 茎をとり、カッター等で切って幼穂の長さを測る。
- 幼穂の長さ1.0cmの時が出穂18日前。

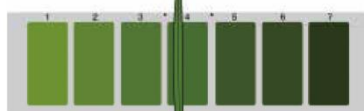
4 葉色の測定方法

葉緑素計 SPAD-502

葉色カースケール



単葉

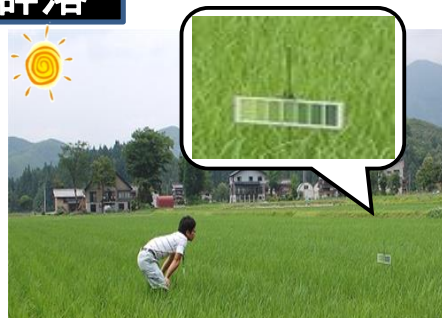


葉の色が一番近い葉色板の数値を読む。

中間の数値は0.5単位まで(3と4の間の場合3.5)読む。

※ 単葉測定の場合は、群落測定より0.8程度濃く見える

群落



ほ場にカースケールを設置し、約3メートル離れて測定する。
太陽を背にして測定する。

※ ほ場全体を眺めるように測定する

5 1回目穂肥施用のための生育診断の方法

【1回目穂肥施用の目安】

- ・時期：出穂18日前（幼穂長1.0cm）
- ・散布量：窒素成分 1kg/10a

（参考）

越後の輝き有機50穂肥の
現物施用量：8.3kg/10a

【穂肥診断早見表（出穂18日前、幼穂長1cm時の草丈・葉色）】

草丈	葉色		SPAD値	幼穂伸長期間(7月中下旬~8月上旬)の 気象予報別の穂肥対応		
	葉色カースケール			低温・少照・多雨	平年並み	高温・多照・少雨
	単葉	群落				
75cm未満	4.0以下	3.0以下	32以下	○△	◎	◎
	4.4	3.5	33~36	×	×	○△
	4.9以上	4.0以上	37以上	×	×	×
75~80cm	4.0以下	3.0以下	32以下	○△	○△	○△
	4.1~4.2	3.1~3.4	33~34	×	×	○△
	4.4以上	3.5以上	33以上	×	×	×
80cm以上	<ul style="list-style-type: none"> ・極端に葉色が薄い場合、異常気象の場合以外は、基本的には散布しない ・葉色の低下傾向が強く高温が予想される場合は「遅め、控えめ」の散布 					

◎：出穂18日前に基準量施用

○△：直近の気象、葉色の推移を考慮して遅め・控えめで施用

×：施用しない

6 2回目穂肥施用のための生育診断の方法

【2回目穂肥施用の目安】

- ・時期：出穂12~10日前（幼穂長4~8cm）
- ・散布量：窒素成分 1~1.5kg/10a

（参考）

越後の輝き有機50穂肥の
現物施用量：8.3~12.5kg/10a

- ・2回目の穂肥を施用しても葉色が低下し、高温が見込まれる場合は出穂3日前までに3回目の穂肥を検討する。
- ・基肥一発肥料でも出穂期の葉色低下が予想される場合は、穂肥の施用を検討する。

7 カメムシ類による斑点米防除

○カメムシ類の餌となる雑草が結実しないよう、畦畔・農道の草刈りを徹底し、出穂後も継続して実施しましょう。

○水田内のヒエ・ホタルイを除去しましょう。

○適期に薬剤防除を実施しましょう。(薬剤に書いてある使用方法を必ず確認すること)

○農作業事故に注意しましょう。特に、草刈り作業は周囲に気を配りましょう。

○農作業時の熱中症に注意しましょう。こまめな休憩と水分補給が大切です。

JA稲作携帯メールサービスの【新規】希望者も大歓迎！

携帯メール【新規】申込みはいつでも可能です。右のQRコードからご登録を！！

最新の出穂予想を携帯メールで配信します。

すでに登録している方でメールが届かない場合は営農センター・資材店へお問い合わせください。



申込者用 QRコード